



こんにちは。

代表理事の大城です。全国的に猛暑日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私はなかなか気温の変化についていけず夏バテ気味でしたが、やっと本調子に戻ってまいりました。この期間に感じたのは、やはり身体が資本であるということ。適度な休養、食事、運動、日々の生活リズムを整え、暑さに負けない身体をつくっていかうと思ひ、ジムにも通いはじめました😊
ジムといっても、ほぼほぼランニングマシンで早歩きし、時々AIマシンでパーソナルレッスンしたりと緩いものですが、好きな音楽を聴きながら身体を動かす事が良い気分転換になっています。まだまだ暑い日は続きますが、皆さまもお元気にお過ごしくださいませ✿



【ニュース】仕事と介護両立へ中小企業向け支援拠点 政府が来年度にも整備、地銀など運営想定（産経新聞）

8/4(日)に某オンラインニュースで紹介された「仕事と介護の両立」に関する記事。今後増加が見込まれる、働きながら介護する人（ビジネスケアラー、ワーキングケアラーともいう）の仕事と介護の両立に向けた取組を、地方銀行などが拠点を運営し、中小企業を支援するという内容です。

特に人手不足に悩む中小企業では、従業員個々の状況にあわせた多様な働き方への対応は難しい部分があり、介護をしながら働く従業員の状況の把握や支援が行き届いてないと指摘されています。そのため、地域の中小企業を対象に「**介護両立支援ハブ**」として、**地域共通の相談窓口の設置を進める**方向とのことです。当組合でも地域企業の両立支援の一助となれるよう働きかけていきたいと思ひます（記事：大城）

セミナーのご案内

経済産業省が発行している「仕事と介護の両立に関するガイドライン」の内容や法改正対応、助成金が活用できる社内規定のポイントについてご説明いたします。**契約企業さまは2名様まで無料**でご参加いただけます。ぜひ、この機会にご参加くださいませ。

仕事と介護両立セミナー

～企業のための両立支援制度設計のプロセスと考え方～

1. R6年8月15日(木)14:00～16:00

2. R6年11月13日(水)14:00～16:00

※いずれも同じ内容になります。ご都合の良い日をお選びください。

場所

沖縄総合福祉センター
沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1

参加料

契約企業…無料(2名まで)
その他…3,000円/1名
お申し込みは**コチラ**から



第1部

解説

「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」

講師：あきなわ仕事と介護両立サポート協同組合

第2部

法改正対応と助成金が活用できる社内規定のポイント

講師

社会保険労務士

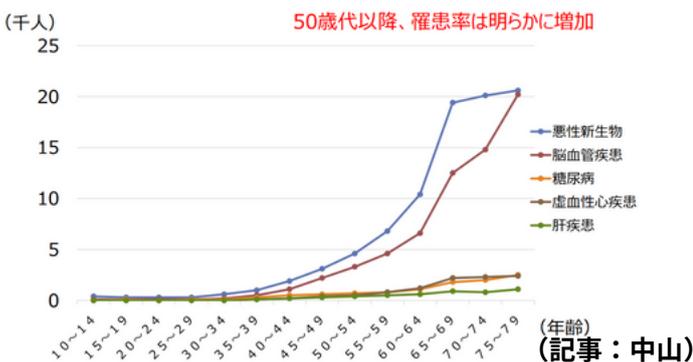
富山 文章 氏



治療と仕事の両立について

従業員自身が介護や療養が必要となった場合にどう対処するのか？我が事となるとどうしていいかわからなく不安になる事もあると思ひます。下の表では、年齢が上がるにつれ何かしらの疾患を抱えてしまう事が示されています。万が一、治療が必要となった労働者を守る為の法律（労働基準法）や就業規則にも定められているので、一度確認できると安心できるかもしれません（次号に続く）

各疾患の入院患者数と年齢



介護ワンポイントアドバイス⑦

患者や家族が感じる『医療あるある』

入院や通院時に、**医者や看護師が話す言葉が分かりにくい**という声があります。皆さんも身の覚えありませんか？
いわゆる医療現場の専門用語や略語がこれにあたるのですが、医師や看護師らが病状の説明から治療について一通り説明が終わわり、『何かご質問はありませんか？』と尋ねられても、患者や家族からすると『何を言っているかよく分からないから、何を質問していいのかも分からない』という状態になりがちなんですよ（苦笑）。それでもここ最近、丁寧な説明が上手な医師や看護師も多くなっています。

患者、家族としても分からないことは調べたり、事前に備えることを考えれば、今から出来ることはたくさんありそうですね。

(記事：中松)

